

(2)第2号議案

平成二十五年度決算報告：会計部長より別紙配布資料にて説明。

●質問

検定交付金の個人宛事務費について、受験者を増やす為にまた会員の為に何かしなければいけないという事で、検定交付金(珠算・暗算)について提案します。静岡県も考えて頂きたい。全国統一でなければいけないと思います。また一般社団法人静岡県珠算協会としても統一する必要があると思います。

○回答

本部からの交付金(珠算・暗算)に関して、各支部への交付割合は、どこの支



部も同じであり、交付金の使途については各支部の判断によるものと考えております。

※第1号議案・第2号議案ともに挙手多数で承認可決された。



◎その他

第四十九回「静岡県そろばんの日」の反省

※各地区および事務局の反省点を一覧表にまとめ、来年度に向けて準備していきます。

各地区においては反省点をまとめて事務局に提出して欲しい。

◎第五十回「静岡県そろばんの日」

日時：平成二十六年八月二十日(水)  
場所：清水マリナート  
(J.R清水駅直結)

「縁」を実感

静岡地区 高橋 智子

8月4日に娘の学校主催で化学の国際フォーラムがあり、諸外国から多数の高校生が来日するため、その受入先のホストファミリーを募集していたので、軽い気持ちで引き受けた。

ゲストとして迎えたのは中国の18才の女の子。日本語は全くわからず、英語は話すが所々に中国語が入る。そして私達家族は「英語は大体何を言っているかわかるが話す事はできない私」「英語の成績はド真ん中の中3の娘」そして「全然英語のわからない主人と義母」。どうなる事やら...と危惧したが、そこは共通文字の漢字がある。小さなホワイトボードと辞書、ジェスチャーでなんとか通じている。

それもこれも、彼女が私達がわかるまで何度も話し、私達が伝えたい事をわかるまで何度も聞くような、素直で忍耐強い子だからだと思う。「どうせ

わからない」とどちらかと思ったらコミュニケーションは成り立たない。

彼女が来た8月2日に、彼女・娘・私の3人で日本平・久能山東照宮に行った。帰りに昼食を日本平のレストランで食べようとメニュー(写真付)で選ぶのに説明が難しい。特に「そば」を訳せない。途方に暮れていると耳に中国語が入ってきた。彼らは台湾から来たと言い、その3人組にお願いして彼女に説明して頂き、事無きを得た。

翌日、フォーラムのレセプションパーティーがあり、その席で前日の3人組が台湾の学校の引率の先生だった事を知り、大変驚いた。人と人はどこでも繋がっていると嬉しくなった。

思い起こせば、小学生の時に佐野正二郎先生の元でそろばんに出会い、中学では離れたものの、静岡商業高校で珠算部に入った。様々な紆余曲折を経て、10年前に全珠連の会員に迎え入れて頂き、大変光栄に思っている。諸先生方に少しでも追いつける様に、この「縁」を大切にし努力していきたい。

最後になりましたが、佐野先生は元より、入会に際しご尽力を賜りました先生方にお礼を申し上げると共に恥じない様精進致します。

皆さまどうぞよろしくお願い致します。

